

---

# 新型コロナを機に 訪問看護でICT推進を

2020年5月7日

日本在宅看護学会研修委員会 川添高志

---

# はじめに ～ICT活用で安全対策～

世界中の様々な産業では、『新型コロナウイルス』によってテレワークが推進され、働き方を大きく見直す機会になっています。

訪問看護ステーションでも、ICT活用が進んでいるところでは、直行直帰が推進され、事務仕事を自宅で行うことやWEB上でカンファレンスを行うことを可能にしています。しかし、ICT(Information communication technology)は苦手という方も多いと思います。

そこで、日本在宅看護学会では、このような時こそ、ICT活用を推進するための具体的な活用方法等の情報提供することにしました。

# ICT活用によるコロナ対策例

1. 事務所での職員同士の接触を避ける方法
  - スマホやタブレットの貸与による情報共有による直行直帰の推進
  - 記録システムや勤怠管理システム、レセプトシステム、会計システムのクラウド化
  - 朝礼や終礼のWEB会議実施や日報のメール共有、訪問スケジュールのクラウド管理
2. 利用者や連携機関との接触を避ける方法
  - 患部の画像共有やWEB会議、電話会議の活用
  - 自施設スタッフの感染情報等のHP上からの正確な情報発信
3. スタッフや連携機関との迅速な情報共有
  - メーリングリストや社内チャット等で感染に関する情報等の共有
  - クラウド上でリアルタイムに情報更新と情報共有
4. スタッフの体調管理やメンタルヘルス
  - アンケートフォームを活用した職場内アンケート
  - WEB面談による心理的フォローやWEB飲み会等による楽しい時間の確保

# 費用対効果例

## 1. 費用(職員一人当たり)

- 月10,000円程度
  - スマホやタブレットの端末代金や通信料金: 月 5,500円
  - スマホ対応記録・レセ: 月 1,000円
  - SNS: 月1,000円 ※チャットや画像共有等
  - Google: 月500円 ※カレンダーや議事録等
  - 勤怠システム: 月 1,000円
  - ノートPC (WEBカメラ付): 月 1,000円

## 2. 効果

- 感染リスク抑制、精神的負担軽減
- 移動コスト抑制、情報共有コスト抑制
- 訪問件数増 ※新型コロナウイルスの影響で増やせないこともあると思います

# 導入ポイント

## 1. 規定の整備

- 情報端末貸与規
- LINEなどの使用禁止
- クラウド上へのファイル保存とアクセス権限設定

## 2. 教育

- mailやSNS使用時の注意点についてオリエンテーション
- 情報漏えいリスクについてコンプライアンス研修

# 活用できる助成金や情報

## 1. 助成金

- 国(厚生労働省や経済産業省、総務省)や自治体等の情報を検索してください
- 現在、東京都ではテレワーク推進に対して、最大 250万円の補助があります

## 2. 情報

- 助成金やテレワークガイドラインなどについて、以下の一般社団法人日本テレワーク協会のホームページに掲載されています

<https://japan-telework.or.jp/>

- 一般社団法人全国訪問看護事業協会の会員であれば会員ページから「訪問看護ステーションのICT普及に向けて-ICT活用推進プロジェクト報告書-」を閲覧できます

## 参考:在宅ケア、高齢者住まい・施設における新型コロナウイルス対応情報

老年看護学や在宅看護学の有志でつくったページです。

[https://note.com/covid\\_19\\_kickout](https://note.com/covid_19_kickout)

特に高齢者領域での施設ケア、在宅ケアの最前線の人へのコロナ対策の情報を発信しています。コンサルテーションも受け付ける予定です。

## 参考:厚生労働省 YouTube(MHLWchannel)の感染対策情報

- 「訪問介護職員のためのそうだったのか!感染対策」の内容

- 1 あなたが利用者宅にウイルスをもちこまない

- 2 あなたと利用者がウイルスをやりとりしない

- 3 あなたがウイルスをもちださない

- 掲載場所

[https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWj\\_HIGPFEBEiyWloHZGHxCc](https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWj_HIGPFEBEiyWloHZGHxCc)



# おわりに

本資料の情報を参考に、ICT活用を推進していただけたら幸いです。

このコロナ危機を乗り越え、ポストコロナ社会がよりよくなるようにしていきましょう。

日本在宅看護学会